

安芸市総合計画(素案)パブリックコメントで提出された意見及び回答

実施日時 令和7年10月29日(水)～令和7年11月19日(水)
 対象者 市民の皆様(通勤・通学者含む)
 公表した資料 安芸市総合計画(素案)
 意見提出者数 2人

番号	意 見	回 答
1	<p>安芸市に限らず、地方都市の懸案の根には人口減問題が深く絡んでいる。きたる震災への不安、魅力的な就業環境やそこから連なる生活、ひいては子育てへの不安、そしてそんな土地で老いていく事への恐怖、それらへの包括的な解決策、アプローチがこの総合計画からはまったく感じられない。個別の課題に各個対策を連ねるだけで、10年、そしてこの次の20年30年を見据えたフレームになっていない。</p> <p>例えば、市役所など市の中心部の移動が始まっているが、そこに商業施設(現商店街含む)を誘致する青写真すら用地取得も含めたアピールがされておらず、この状態でどうやってこの地に根をはろうという若者が、市出身者、そして市外県外から現れるというのだろうか？</p> <p>例えば、移動販売車での起業を支援し、現在の商店街の空き地活用、そして将来的に市役所周辺に大きな移動販売車出店スペースと駐車場を作り、徐々にそちらに出店を誘致する形(いわゆる屋台村のようなもの)はどうだろうか？移動販売車なら市外からも既に何台か各地に出店してきているが、屋台村となれば新たな観光資源になる。出店が容易で固定された店舗より融通が利くとなれば、商い甲子園などで商売に興味を持った子達が、故郷でまずは学んだスキル、経験を活かそうという夢も抱きやすいのでは？</p> <p>その流れで移動スーパーにも支援をし、地場産の食材を商材として積み下ろしできる拠点をつくれば家から遠出できない高齢者支援と産業振興も兼ねられるのだが。点ではなく、線、面で課題解決のアイデアを練ってほしい。</p>	<p>ご意見のとおり、人口減少や防災、就業環境、子育て、高齢期の暮らしなど、地方が抱える課題はいずれも相互に関連しており、個別施策の積み上げだけでは十分でないという点は、市としても強く認識しています。総合計画(素案)では、10年後を見据えた方向性を示すとともに、各分野の施策を体系的に整理することで、今後のまちづくりの基盤とすることを目的としております。</p> <p>いただいたご意見は、今後策定する関連計画(中心市街地活性化、産業振興、移住・定住、子育て支援、防災など)や具体的な施策の検討において、参考とさせていただきます。</p>
2	<p>多岐にわたる総合計画(素案)の作成ありがとうございます。基本構想・基本計画について、全体として納得のいく内容でした。そのうえで気になった点と、計画を進めるにあたっての提案を記載します。</p> <p>①気になった点、【学校教育】に関するご意見について</p> <p>総合計画では、タブレット端末やデジタル教材の活用について、学習の個別最適化や情報活用能力の育成といった観点から必要性を認識しております。一方で、ご指摘のように、デジタル機器の長時間使用が心身に与える影響や、実体験を通じた学びの重要性も、教育の質を確保するうえで非常に重要な視点です。</p> <p>実際の施策展開にあたっては、「触れる・感じる・動く」体験型の学習機会や地域との関わりの場が引き続き確保されるよう、教育委員会とも連携して取り組んでまいります。</p> <p>②赤野地区に関するご提案について</p> <p>お示しいただいた、地域住民と市が協力し「安芸市の玄関口としてふさわしい魅力ある地域」を目指す取組は、地域の特色を生かしたまちづくりの視点として重要であると認識しております。今後の地域振興施策や協働のまちづくりにおける具体的な検討の際には、いただいた提案を参考にさせていただきます。</p>	<p>ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>